

『颯とあそび』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

(1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。

(2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

夏休みのわくわく体験特集

動物・昆虫とのふれあい、オリジナルの楽器づくりや英語で歌って楽しもう!!

帝京科学大学 夏休み親子教室

帝京科学大学(沖永荘八学長)と北都留地域教育推進連絡協議会(会長:江口英雄上野原市長)は、7月24日(日)に第13回「夏休み親子教室」を帝京科学大学上野原キャンパスを中心に開催しました。

当日は、幼児・児童85名、保護者65名、のべ150名が参加。同大学の花園先生・馬場先生・榊原先生・大海先生・藤井先生・望月先生が中心となり、各研究室に所属する学生および、AAE(動物介在教育

研究会)、ドッグトレーナー研究部、動物飼育研究部等の学生サークルのスタッフ

が、8コース9講座の運営にあたりました。日中は35℃を越える猛暑ではありましたが、参加者は「生き物を知ろう」

「自然観察」「カリグラフィーでカードを作ろう」「英語で歌を歌おう」「手作り楽器を作ろう」「科学に親しもう」「音楽のいろいろな表現を楽しみましょう!」「段ボール織りで作るmy布草履」「運動遊びでコミュニケーション」の中から事前

に申し込んだ各講座において、観察したり、体験したりして、科学や自然、英語、音楽などのことについて楽しく学びました。

参加者からは「コアラの生態を初めて知ることができました。」「犬やヤギにエサをあげられて楽しかった。」「夜の自然探検で、初めてセミの羽化を見られてとてもビックリした。いろいろな昆虫の名前を知ることができてよかった。」「静電気の実験がおもしろかった。」「普段、親子で遊ぶ時間がないので、一緒に体を動かすことができてよかった。」等の感想が寄せられ、普段はなかなか体験できない各講座を楽しむとともに、親子の絆を深めていたようです。



ものづくりのおもしろさを体感!!

富士北稜高校 親子カルチャー教室



富士北稜高等学校（渡邊信介校長）と南都留地域教育推進連絡協議会（三井恵司会長）は、7月23日（土）に第14回「親子カルチャー教室」を開催しました。今年は「親子で仲良くクッキーをつくろう」「フォトスタンドをつくろう」「3D LED キューブをつくろう」「鋳物で表札をつくろう」の4つの講座に49組97名の応募がありましたが、応募者多数のため、抽選により当日は児童・保護者合わせて34組67名が参加しました。

当日は41名の高校生がミニ先生となって小学生を指導。ミニ先生の親切で丁寧な教え方に、参加者は親子で楽しむ「ものづくり」に熱中できたようです。

参加した児童からは、「ノコギリなど家ではなかなか使うことがない道具が使えるてうれしかった。」「ミニ先生の教え方が上手でわかりやすかった!」「はんだでくっつけ、スイッチをいれてみると電気がついたのでびっくりしました。とても面白かったです。」との感想がありました。また、保護者からは、「普段なかなか入ることのできない、高校の校舎を見学しながらミニ先生とふれあい、親子共々とても楽しく時間を過ごせました。」「子どもが非常に興味深くミニ先生の説明に聞き入っていて、作品を作り終えたときの表情が印象的でした。」と感想が寄せられ、大変好評でした。



ものづくりのおもしろさを体感!!

都留興譲館高校 親子ものづくり教室



都留興譲館高等学校（上小澤仁志校長）と南都留地域教育推進連絡協議会は、8月11日（木）山の日（木）に第13回「親子ものづくり教室」を開催しました。

「燃料電池カーの製作」「電子制御ロボカーの製作」「メタルプレートの製作」「レジンクラフトの製作および走査型電子顕微鏡体験」の4つの講座に児童・保護者合わせて15組30名が参加しました。当日は、18名の高校生によるミニ先生の指導のもと、はじめての「ものづくり」を楽しむとともに、親子のコミュニケーションも

深まったようです。子どもたちは、難しい作業は保護者の助けを得ながら、みんな素晴らしい作品を仕上げました。

参加した小学生や保護者からは、「普段はできない体験を親子ですることができ、とても楽しめました。昼食時にも話がはずみました。」「ミニ先生がとても親切・丁寧に教えてくれて良かったです。子どもが楽しそうに作っていたので参加して良かったです。また、違う物も作ってみたいになりました。これからも続けていってもらえたら…と思います。」などの感想が寄せられました。『ものづくり』のむずかしさやおもしろさを体験し、『ものづくり』への興味関心が高まったようです。



仲間と一緒にコミュニケーションしながら本を読もう！！

上野原高校

チャレンジ！上高アニメーション



上野原高等学校(田口尚弥校長)では図書委員会を中心に、「他の人の意見を聞き、自分とは違うものの見方や考え方を発見し、思考力や判断力、問題解決能力を身につける」ことを目的に、「読書へのアニメーション」に取り組んでいます。今年で4年目を迎え、北都留地域教育推進連絡協議会(江口英雄会長)との共催事業として実施することになりました。参加者同士がコミュニケーションを通して、普段とは違う方法で本に親しみ、読書を楽しみます。本年度の1回目は、8月6日(土)に上野原市立図書館会議室において、上野原市の中学生を対象に開催され、今回は中学生8名、上野原高校図書委員の生徒9名、学校関係者等、合わせて25名が参加しました。

参加者は事前に配布されたテキストを読んでおきます。そして、当日は進行役である「アニメードール」により会が進められます。まず、作品の一節が書かれたプリントが参加者にランダムに配布されます。参加者は配られた内容が全て作品と同じ順番になるように、前後の文脈を推理して、周りとの相談しながら正しく並び替えをします。最後にアニメードールはその順番が正しく並べられたかどうかを参加者に告げます。

次に、参加者全員が登場人物役やギャラリー役になり、アニメードールの司会により質疑応答をします。登場人物の気持ちになって答えるといっても、正解は1つではありません。セリフや情景描写から人物の心情を想像し、テーマについて話し合うことで思考力を育てます。また、他者の意見に触れることで多角的な読みが可能になります。

参加した中学生からは、「高校生のアニメードールが盛り上げてくれて楽しかった」「他校の人達や高校生と交流が深められて良かった。また参加したい」などの感想が聞かれました。次回は、10月1日(土)に大月市・小菅村・丹波山村内の中学生を対象に実施されます。



シオジの森を楽しもう

シオジ森の学校

鳥のさえずりを聴く会・夏休み木工教室

シオジ森の学校(下澤直幸校長)では、5月28日(土)に「シオジの森 鳥のさえずりを聴く会」を開催。参加者は親子連れが20名、スタッフ5名の合計25名でした。当日は天候に恵まれ、大峠や雁が腹摺山登山道でウグイスやミソサザイ、オオルリやコマドリなどのさえずりを聴くことができました。また、シオジの森ではミソサザイやウグイスのさえずりを楽しみました。下山途中では、魚鱗草の群落を発見するなど参加した子ども達は大喜びでした。

また、8月20日(土)には大月市真木の就労支援事業所「めばえ」内で、「夏休み木工教室」を開催。当日はスタッフを含め12名が参加しました。昨年度までの間伐体験などで集めた木材を使って、シオジ材のペンダント、間伐材のテーブル、杉の巣箱などを作製。最初は工具をうまく使えなかった子ども達も、スタッフの指導により世界にただ一つの作品を作り上げることができました。



八丈島・でっかい体験 2016

フロンティア・アドベンチャー やまなし少年海洋道中



「心の豊かさやたくましさを育むことを目指して、友情・連帯・奉仕・開拓・交流の精神を涵養するとともに、地域のリーダーとしての資質向上を図ること」を目的に、8月1日(月)から9日(火)の8泊9日の日程で、第29回「やまなし少年海洋道中」が実施されました。南北都留地区からは、抽選で選ばれた男女7名の中学生が参加しました。漁船クルージングなどの「洋上体験」、キャンプ生活・スノーケリング・サバイバル踏破などの「自然体験」、八丈島の小中学生や地元の方々との「交流体験」、「自ら企画する体験」など、大自然の中で日常生活では味わうことが出来ない、数え切れない貴重な体験をしてきました。

参加者は、「友だち、家族の大切さ。海の厳しさ、美しさを学ぶことができました。普段、家で机に向かうだけの勉強とは全く別の『学び』がありました。」

や、「想像よりはるかに大変なことがあったけど、自分の気持ちを素直に言えるようになり、仲間と助け合うことで大きく成長することができました」と話していました。参加した49名の中学生は、さまざまな体験活動の中で多くのことを学び、大きく成長した9日間になりました。また、8月17日(水)には県立八ヶ岳少年自然の家において事後研修を行うとともに、八丈島の小中学生と再会。今回は山梨の中学生が八丈島の小中学生を歓迎し、交流を深めました。この交流活動をもって、今年度の「やまなし海洋道中」は無事終了しました。来年も、多くの中学生が参加されることを期待しています。



富士山の麓の大自然の中で、小中学生の交流深まる

南都留地区ジュニアリーダー合同キャンプ



学校の夏季休業中の8月3日(水)、4日(木)の2日間にわたり、南都留管内の小中学生を対象にした「ジュニアリーダー合同キャンプ2016(主催 管内8市町村教育委員会・富士東部教育事務所)」が国立中央青少年交流の家にて開催されました。富士山の裾野に広がる大自然の中で参加者総勢41人がキャンプ体験に臨みました。1日目は、「アイスブレイク」で仲間との親睦を図ったあと、広大なキャンプ施設に設けられたポイントを回る「ビジュアルオリエンテーリング」を通して班内の協力と結束を深めました。また夕食に向けて班ごとに飯盒炊さんに取り組み、初めて会った仲間と楽しく会食をしました。

2日目は、宿泊地に隣接する自衛隊施設を訪問し、自衛隊活動について触れ、昼食時に自衛隊食の体験喫食を行いました。

そのあと、再びキャンプ地に戻り、山梨県建築士会の協力のもと、「新聞紙エアドームづくり」に挑戦しました。子どもたちは仲間と試行錯誤しながら楽しくクラフト工作を行うことで建築構造の基礎のひとつを知ることができました。今年度は、日本の各地で、クマの出没やそれに伴う事故等が発生している状況を踏まえ、安全第一と考え、大自然の中ではあるものの、各関係団体に御協力いただき、学校では学ぶことのできない体験活動の内容を中心に構成しました。小学生個々の自律と中学生のリーダーシップのもと、豊かな体験活動を通して仲間との交流が深まるとともに、相手を思いやる気持ちや自然を愛する気持ちが育まれた2日間となりました。



第34回 吉田空襲展

～語り合おう吉田空襲の歴史 平和のあり方を考えよう～

今は平和な吉田の空に、かつて戦うための飛行機が飛び、多くの人が苦しみ、そして亡くなりました。今を生きる私たちは、そのことを忘れてはいけません。

吉田空襲の事実を伝えるとともに、戦争や現代社会の課題を児童生徒・地域に広め、平和実践の交流の場とすることを目的に、第34回吉田空襲展が7月29日(金)から31日(日)の3日間、富士吉田市民会館で開催されました。

「吉田空襲のパネル」「戦時中の遺品」「市内小中学生の作品と平和ポスター」「高等学校・特別支援学校の企画展示」などの一般展示のほか、「吉田空襲フィールドワーク」「高校生による読み聞かせと親子映画会」「ことぶき勸学院のみなさんとのふれあい&昔の遊びコーナー」などの企画が行われました。また、吉田空襲体験者の宮沢和雄さん(88歳)を講師に招き、「吉田空襲体験者にお話を聞き語り合う会」が開催されました。市内外の小中学生の質問に答えていただいたり、当時の空襲や生活の様子をお話ししていただいたりする中で、参加者全員が平和のあり方について語り合い、考える会となりました。

3日間で約2500名の児童・生徒や保護者が来場。戦争の悲惨さや平和の尊さについて考えることができた空襲展でした。



「ものづくり」の楽しさを体験!!

ひばりが丘高校 創作授業公開

県立ひばりが丘高等学校(松野正土校長)の「授業公開」は7月12日(火)に実施されました。今回は昼間部・夜間部ともに、年次ごとのテーマにもとづいた、「ものづくり」を行う創作授業の公開でした。

「創作授業」とは、「他者との協調性と積極性の育成」「豊かな感性を持った人間の育成」「地域に根ざした人間の育成」を目的に行われています。地域の外部講師の指導により、「切り絵」「絵画」「絵手紙」「本づくり」

「刻字」「陶芸」「革細工」「折紙」「卒業制作(木工)」の各講座を開講。

生徒の皆さんは、教員や講師の指導のもと、とても熱心に作業に取り組み、どの作品も個性的で感性豊かな作品に仕上がっていました。今後の授業公開は、10月20日(木)に予定されています。



楽しく体を動かす!!

鳴沢保育所 「運動遊び」



幼児期の運動遊びの大切さが見直されており、運動指針などを通し実践が求められるようになっていきます。鳴沢保育所(天野明子所長)では、南都留郡保育内容研究会で取り組んでいる「幼児期に身につけたい動き」をもとに、しっかり歩く・走る・はねる・投げる等、様々な動きを保育に取り入れています。また楽しく体を動かす中で「体力の向上」「発達にあった動き」「多様な動きの経験」を目的に、専門家の指導を取り入れた「運動遊び」を計画。全園児を対象に「体幹を鍛えるための動き」や「用具(マット・鉄棒・ボール・バルーン等)を使った動き」を実施しています。

今年度6回目となる8月26日(金)に未満児はマット運動を中心に、また年少児・年中児・年長児は運動会に向けてそれぞれバルーン・組立て体操を行いました。子どもたちは、楽しんで体を動かしていましたが年長児組は、バランスと協力が必要な動きに、専門家や先生方の助けを得ながらも、みんなで取り組んでいました。天野先生は、「体を動かし、様々な遊びを楽しむことで、心身共に成長することを願っています」と話されていました。



山梨ことぶき勸学院レポート 地域貢献編

河口湖畔清掃活動!! 南都留教室

ことぶき勸学院南都留教室では、毎年地域貢献として、湖上祭翌日の8月6日に、河口湖畔の清掃活動を行っています。6日当日は天候に恵まれ、朝から強い日差しの中、汗を流しながらの活動でした。1年生20名が大池公園を、2年生22名が八木崎公園を担当し、清掃活動を行いました。この地域貢献活動は、年間25コマ行われる必修講座との一つとして設定されています。学びの場、ふれあいの場、そして、地域社会を担う場としての勸学院です。どうぞ、多くの入学生をお待ちしております。



子ども達のために!! 北都留教室

大月・上野原に住む受講生で構成されている北都留教室では、未来を担う子ども達とのつながりを大事にしたいということで、今年は上野原市立島田小学校にお願いし、校庭の草取りをさせていただきました。「運動会の練習が気持ちよく整備された校庭で行うことができます。ありがとうございます!」という子ども達からのお礼の言葉に、疲れも吹き飛び、さっぱりとした校庭を眺めながら充実感を伴って作業を終了しました。運動会にもお招きいただき、益々意欲みなぎる北都留教室です。



【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。】

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html>]

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

※連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841